

点描ぐんま経済

日銀支店長 見聞録

56

私は歴史が好きだ。好きになっただきっかけは何だっただろうかと思ひ返してみると、幼少時代の記憶にたどり着いた。

両親の実家に帰省した時には、頻りに祖父や祖母から昔話を聞いた。祖父はどちらかといえは言葉少なの人だったが、祖母は本当におしゃべりだったし、真偽のほどは分からないが、昔のことをよく覚えていた。

その話には自分が会ったことがない、祖母の父母の話だけでなく、祖父の祖母の祖父母やおじおばの話まで出てくる。しかも、その登場人物がドラマのような経緯をして、時代を

家系図の謎

どこにも祖先は源平？

生き抜いている。それが面白くて、祖母の話に出てくる登場人物(自分の先祖)を家系図にしたくなつて、祖母が一生懸命話

に出てくるので、群馬の方々にはなじみ深いのではないだろうか。

そこで聞いた話は私にとつて初めてのことが多く、しかも知的好奇心をかなり強くくすぐるものだった。理解が正しくないかもしれないが、徳川家康が新田義貞の末裔を名乗つ

たのは、征夷大將軍に確認しつつ、家系図を作ったことがあった。このような私だが、先日、県立女子大が主催し、県立歴史博物館が共催されている、「新田源氏研究の最前線—ぐんま源氏フランドの潮流」というテーマの群馬学連続シンポジウムを拝聴した。新田源氏は上毛かるたの「歴史に名高い新田義貞」

たのは、征夷大將軍になるために源氏を名乗る必要があったほか、家康は北条氏が滅んだ後に関東に転封されたけれども、義貞が北条氏を滅ぼしたことをイメージさせるためだった

権、源氏を称した徳川幕府と、源平が交代しているとする説だ。武士政権では、出自という正当性が必要だったところだ。ところで、冒頭に書いた家系図について

は、それを作成する業者があり、しかもどこかの家系も必ず祖先は源氏か平氏になっていると聞いたことがある。以前は眉唾だなぁと思っていたが、考えてみると当然なのかもしれない。源氏と平氏が活躍したのは約900年前のこと、30年を一代とすると、30世代。そうすると、祖先は2人の30乗となり、2の30



岡山和裕(おかやま・かずひろ) 1969年7月生まれ。兵庫県出身。東京大法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。